



平成24年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場会社名 株式会社ユビテック 上場取引所 大
 コード番号 6662 URL http://www.ubiteq.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)荻野 司
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)明石 直人 (TEL)03(5487)5560
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第1四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第1四半期	768	△13.2	15	△76.2	3	△93.5	△1	—
23年6月期第1四半期	884	20.2	65	—	57	—	26	—

(注) 包括利益 24年6月期第1四半期 △3百万円(—%) 23年6月期第1四半期 24百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第1四半期	△10 71	— —
23年6月期第1四半期	189 79	186 45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第1四半期	3,881	3,277	83.2
23年6月期	4,076	3,318	80.3

(参考) 自己資本 24年6月期第1四半期 3,228百万円 23年6月期 3,273百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	— —	0 00	— —	300 00	300 00
24年6月期	— —	— —	— —	— —	— —
24年6月期(予想)	— —	0 00	— —	300 00	300 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,920	0.8	190	0.6	185	2.1	95	2.6	666 29
通期	4,100	8.5	450	21.5	450	23.1	220	20.6	1,542 99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年6月期1Q	144,076株	23年6月期	143,980株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年6月期1Q	1,400株	23年6月期	1,400株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年6月期1Q	142,629株	23年6月期1Q	140,989株
----------	----------	----------	----------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による生産活動の停滞や個人消費の低迷から徐々に持ち直してはいるものの、欧州債務危機に端を発する欧米経済の減速や急激な円高の進行などを受け、依然として先行き不透明な状況が続いております。当社グループの関連市場においても企業収益の完全な回復には至らず、特にエレクトロニクス業界においては苦戦を強いられており、設備投資抑制は続き、需要回復の遅れや価格低下圧力が強まる等、全般的に厳しい事業環境となりました。このような状況の中で、前連結会計年度に引き続きグループ全体によるローコストオペレーション体制を維持すると共に、事業効率化とコスト削減などの諸施策に取り組んでまいりました。

また、事業構造の変革を最重要課題として、受託開発事業中心の構造から顧客先企業の状況に影響を受けにくい自社製品と自社サービス提供型事業へと着実に移行してまいりました。特に、省エネソリューション事業のUbiteq Green Service (以下、UGS) やカーソリューション事業の車載システムについては、「自然に出来てしまう、やりたくなる省エネ」を実現する製品として、従前の開発投資を回収する目途が見えてきたと考えております。今後、より代理店や顧客との連携を強化し、満足度の向上と機能強化のための更なる開発及び販売推進に注力していきます。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は768百万円（前年同四半期比13.2%減少）、営業利益は15百万円（前年同四半期比76.2%減少）、経常利益は3百万円（前年同四半期比93.5%減少）、四半期純損失は1百万円（前年同四半期は四半期純利益26百万円）となりました。

電子機器事業は、ATM用紙幣鑑別ユニット等のセンシングモジュールは好調に推移したものの一部には生産が終了したモジュールもあり、売上高の前期比増加には至りませんでした。また、自社開発製品であるカーソリューション事業について、受注活動は堅調に推移していますが、一部製品の単価下落や東日本大震災による納品遅延の影響を受けており利益率も前期比低下いたしました。なお、コスト削減については業務全体を見直しながら関係協力会社にもご協力頂き、仕入コストや外部委託費用についての削減を継続して進めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は454百万円（前年同四半期比9.6%減少）、セグメント利益は81百万円（前年同四半期比32.5%減少）となりました。

モバイル・ユビキタス事業については、主力事業であった携帯電話の評価業務の受注が減少し、パナソニック電気株式会社と進めてきた開発案件も終了したことにより、売上高・セグメント利益共に前期比減少いたしました。今後の主力事業であるUGSを中心とする省エネソリューション事業については、UGSがキヤノンSタワーに続き株式会社大塚商会本社にも導入され、また、グリーンITアワード2011受賞や経済産業省所管の独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構の省エネルギー革新技术開発事業に採択され助成金を頂ける等、UGSの認知度が向上しております。また、東日本大震災の影響による節電要請もあり、引き合いは順調に増加し代理店の開催するセミナーも活況を呈しておりますが、受注の継続的な獲得には今しばらく時間を要しており、今後も代理店との連携や直接販売等の受注活動に注力していきます。なお、子会社ユビテックソリューションズの利益は改善しており、全社的な業務効率化への取り組み及び内部要員の有効活用によるコスト削減対応は継続して行っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は313百万円（前年同四半期比17.9%減少）、セグメント利益は13百万円（前年同四半期比59.5%減少）となりました。

また、当社では東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県亘理郡山元町に対して、デジタルサイネージ「UGS情報POD」を無償提供及び設置するなど、被災地の復興支援に積極的に取り組んでおります。引き続き当社では、得意とするICTを活用した復興支援活動を進めていくとともに、UGSについては更なる事業拡大のため、今後も拡販のためのチャネル開拓を推進し、追加機能開発やマーケティングにも積極投資していきます。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は3,881百万円となり、前連結会計年度末から194百万円減少しております。主な内容としましては、現金及び預金が209百万円減少しております。

(負債の状況)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は604百万円となり、前連結会計年度末から153百万円減少しております。主な内容としましては、未払法人税等が108百万円、役員賞与引当金が19百万円減少しております。

(純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は3,277百万円となり、前連結会計年度末から40百万円減少しております。主な内容としましては、剰余金の配当42百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年8月10日に発表しました、平成23年6月期決算短信に記載の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

一部の連結子会社において、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

・「1株当たり当期純利益に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業に提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の金額は、185円93銭です。

(4) 追加情報

・「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,801,219	2,591,762
受取手形及び売掛金	835,673	837,744
製品	24,992	31,957
仕掛品	38,844	45,593
原材料及び貯蔵品	53,741	68,827
繰延税金資産	37,259	41,761
その他	45,396	31,242
貸倒引当金	△2,491	△2,416
流動資産合計	3,834,635	3,646,473
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	57,912	57,912
減価償却累計額	△22,848	△24,313
建物及び構築物(純額)	35,063	33,599
工具、器具及び備品	256,350	254,695
減価償却累計額	△218,603	△220,485
工具、器具及び備品(純額)	37,747	34,209
リース資産	4,562	4,562
減価償却累計額	△608	△836
リース資産(純額)	3,953	3,725
有形固定資産合計	76,764	71,534
無形固定資産		
その他	16,270	18,135
無形固定資産合計	16,270	18,135
投資その他の資産		
投資有価証券	42,497	35,807
繰延税金資産	39,312	44,417
その他	66,541	65,397
投資その他の資産合計	148,351	145,622
固定資産合計	241,385	235,291
資産合計	4,076,021	3,881,765

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	417,312	401,975
未払金	54,852	45,538
未払法人税等	119,822	11,170
リース債務	958	958
賞与引当金	5,744	11,181
役員賞与引当金	19,000	—
その他	78,297	71,782
流動負債合計	695,986	542,605
固定負債		
退職給付引当金	57,110	57,111
リース債務	3,193	2,953
その他	1,439	1,356
固定負債合計	61,743	61,421
負債合計	757,730	604,027
純資産の部		
株主資本		
資本金	877,008	878,233
資本剰余金	590,910	592,136
利益剰余金	1,892,746	1,848,444
自己株式	△75,474	△75,474
株主資本合計	3,285,191	3,243,340
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,522	△11,332
為替換算調整勘定	△3,287	△3,309
その他の包括利益累計額合計	△11,809	△14,641
新株予約権	26,405	30,006
少数株主持分	18,504	19,032
純資産合計	3,318,291	3,277,738
負債純資産合計	4,076,021	3,881,765

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
売上高	884,845	768,268
売上原価	659,063	602,766
売上総利益	225,781	165,502
販売費及び一般管理費	160,365	149,910
営業利益	65,416	15,591
営業外収益		
受取利息	400	648
受取配当金	66	2
その他	798	251
営業外収益合計	1,265	902
営業外費用		
為替差損	8,037	12,637
投資事業組合運用損	812	79
その他	6	12
営業外費用合計	8,856	12,729
経常利益	57,824	3,763
特別利益	—	—
特別損失		
固定資産除却損	28	60
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,572	—
投資有価証券売却損	—	1,682
特別損失合計	8,600	1,742
税金等調整前四半期純利益	49,224	2,021
法人税、住民税及び事業税	20,863	10,707
法人税等調整額	1,895	△7,688
法人税等合計	22,759	3,018
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	26,465	△997
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△292	530
四半期純利益又は四半期純損失(△)	26,757	△1,528

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	26,465	△997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,922	△2,810
為替換算調整勘定	△107	△23
その他の包括利益合計	△2,030	△2,834
四半期包括利益	24,434	△3,831
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,745	△4,360
少数株主に係る四半期包括利益	△310	528

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	電子機器事業	モバイル・ユビ キタス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	502,669	382,176	884,845	—	884,845
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	502,669	382,176	884,845	—	884,845
セグメント利益	120,695	33,805	154,501	△89,085	65,416

(注) 1. セグメント利益の調整額△89,085千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△89,085千円であり
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	電子機器事業	モバイル・ユビ キタス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	454,518	313,749	768,268	—	768,268
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	454,518	313,749	768,268	—	768,268
セグメント利益	81,490	13,676	95,166	△79,574	15,591

(注) 1. セグメント利益の調整額△79,574千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△79,574千円であり
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項ありません。